

今日のトピック インドの経済・市場動向 (2018年7月前半)

インドルピーは下落も、値持ちがいいインド株式

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	7月3日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.61	0.0	▲1.3	▲8.9	▲7.7
ルピー/米ドル (ルピー)	68.58	0.5	2.3	7.9	5.7
金利					
政策金利 (%)	6.25	0.0	0.25	0.25	0.0
10年国債利回り (%)	7.89	0.1	0.0	0.6	1.3
株式指数					
SENSEX (ポイント)	35,378.60	▲0.3	0.4	4.7	13.3

(注) データは2018年7月3日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(ポイント) 【インドの株式と通貨】 (ルピー/米ドル)



17/7 17/10 18/1 18/4 18/7 (年/月)
(注1) データは2017年7月3日～2018年7月3日。
(注2) ルピー/米ドルは逆目盛。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント1 ルピーは下落傾向

米中貿易摩擦や原油高を嫌気

- インドルピーは7月2日に1ドル = 68.80ルピーと対ドルで過去最安値を更新しました。米国の利上げが続くドル高圧力がかかるなか、米中貿易摩擦の激化を受けて海外投資家がアジア新興国から資金を引き揚げる動きが強まっています。特に経常赤字国の通貨が対ドルで売られており、ルピーも弱含んでいます。また、原油の8割強を輸入に頼るインドにとって、最近の原油価格の高騰もルピーの下落要因です。原油価格の上昇が続けばインドの経常赤字が拡大するためです。

ポイント2 6月のインド株式市場は小幅高

アジア市場のなかでは相対的にしっかりした動き

- 6月のアジアの株式市場が米中貿易摩擦の再燃を受けて軒並み下落するなか、インド株式市場は、主要株式指数のSENSEXが月間で小幅高となるなど、相対的にしっかりした動きとなりました。ただし、インド政府も、米国が発表したインドの鉄鋼製品などに対する追加関税の報復措置として、米国からの輸入品に追加関税を課すと明らかにしたことや、原油高、ルピー安が進行したことに伴いインド準備銀行の利上げ観測が高まったこともあり、株式相場の上値は抑えられました。

今後の展開 株式市場は底堅い展開

- インドルピーは、インド準備銀行の金融引き締め姿勢が支えとなるものの、ドル高地合いが続くなかで経常収支の赤字が嫌気されやすく、当面下落圧力がかかるとみられます。
- 株式市場は、中期的にはインド経済の成長加速を背景に底堅い展開が期待されます。インドは内需中心の経済のため、世界貿易の停滞が懸念される局面で投資資金の受け皿となる可能性があります。

ここも
チェック! 2018年6月22日 選別色が強まるアジア株式市場
2018年6月20日 インドの経済・市場動向 (2018年6月後半)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。